

サハリン事務所現地レポート

平成30年6月

(件名) ハバロフスク「国際ビジネスデー」への参加

報告者：所長 佐藤 知至

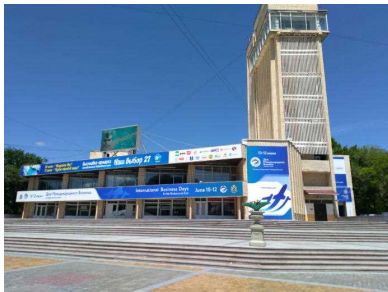
6月10日(日)から12日(火)にかけて開催されたハバロフスク「国際ビジネスデー」に参加したので報告する。

本イベントは、ハバロフスク地方政府の主催で本年度初めて開催されたもので、世界10ヶ国の行政機関や企業などが参加、6,000㎡の会場内に約100ものブースが設置され、3日間に渡りそれぞれの地域や商品、技術などをPRしたほか、BtoBのマッチングなどが行われた。

ハバロフスク地方と北海道は、同じ極東のサハリン州や沿海地方と共に「経済発展プログラム」を結び交流を進めており、北海道はハバロフスク地方政府の招待を受けブースを設置し、スキーを中心とした観光や食、寒冷地の建築技術・融雪技術を紹介したほか、別会場で開催されたプレゼンテーションでは、辻副知事から参加各国の代表者に向け北海道の紹介を行った。

北海道ブースを訪れた方では、具体的な旅行のルートやベストシーズンなど特に観光分野に対して熱心に質問をされる方が多く、北海道への興味の高さが伺えた。

今回は第1回目ということもあり、現地の方の来場がやや少ない印象だったが、海外、特に中国からは100名以上の関係者が参加する中、各国の方に北海道の魅力や技術を知っていただけた。



メイン会場



北海道ブースでのPR



プレゼンテーション

(件名) 加藤登紀子さんのサハリン公演

報告者：主査 阿部 大祐

「百万本のバラ」や「知床旅情」などのヒット曲で知られる歌手の加藤登紀子さん一行が、6月19日から23日、コンサート開催のため当地を訪問したので以下報告する。滞在中、加藤登紀子さんは、当事務所も入居する「北海道センター」日本庭園でのバラの植樹式典、ツアー客や残留邦人らの交流会パーティーに出席した。バラ植樹式典は快晴のなか行われた。バラは日露の友情の証として咲き続けることと思う。また、21日、当事務所内では、同ツアーで当地を訪問した「布あそび・はりねずみ」主催で、残留邦人を対象とした着物を利用した箱作りのワークショップが行われ、色鮮やかな布を手に取り、思い思いに箱の装飾を行った。同日夕刻のコンサートでは、残留邦人をはじめ多くの方が来場。代表曲のほか、韓国語で歌われた「鳳仙花」は、来場していた韓国を故国とする方々の心に切々と訴えていた。フィナーレは、サハリン芸術カレッジ学生と共に歌い上げ、特に「百万本のバラ」は、日本人や当地ロシア人にも馴染み深いメロディであり、素晴らしいコンサートだった。今回、当事務所は現地との調整など準備段階で主催者の支援を行った。残留邦人の方々にとって、故国に想いを馳せ日本との絆を深める素晴らしい機会の一助となったことと思う。



バラ植樹



着物を利用したワークショップ



コンサート